



第 8 回
おおさか
優良緑化賞
受賞事例集

■「おおさか優良緑化賞」とその目的 ■

大阪府自然環境保全条例等に基づいてなされた緑化のうち、府内の都市環境の改善に貢献する緑化や、都市の魅力向上に資する緑化、新たな緑化手法のモデルとなる緑化等、特に優れた取組みに対し顕彰するものであり、建築主の施設に対する緑化意欲の向上や緑化技術の普及促進を図ることを目的としています。

■ 選 考 方 法 ■

大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会による選考を経て、大阪府が受賞者を決定。

大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会委員 ※50音順

大阪教育大学教授	石川 聡子
大阪市立大学大学院准教授	嘉名 光市
大阪府立大学名誉教授	谷田 一三
大阪産業大学大学院教授	花田 眞理子
近畿大学教授	藤田 香
ランドスケープデザイン事務所 E.M.Iプロジェクト代表	二見 恵美子
大阪府立大学大学院教授	増田 昇 【部会長】

■ 総 評 ■

部会長 増田 昇

本年は集合住宅が7件と多くを占め、事務所等が3件、学校が1件の計11件の応募がありました。提出書類と写真、並びに現地調査も踏まえた調査結果票をもとに、①緑量、②周辺環境との調和、③配置・デザイン性、④敷地外部への貢献度、⑤緑化技術、⑥維持管理、⑦その他特筆事項の観点から厳正に審査をした結果、知事賞3件、奨励賞3件を選出しました。なお、本年は、残念ながら生物多様性賞に該当する物件はありませんでした。知事賞3件のうち、中之島四季の丘・ダイビル本館は旧本館の意匠を保全しながら丘状の立体的な緑化が導入されており、中之島の新たな顔となることが期待できます。関西医科大学枚方キャンパスは芝生空間を中心としつつ淀川河川敷公園へのパブリックアクセスを提供しておりネットワークの形成に大いに貢献しています。シティテラス今福鶴見は緑の少ない市街地の中で公開された豊かな緑を街に大きく提供しています。奨励賞3件は、超高層建築での新たな緑化技術を展開したあべのハルカス、ふるさと桜マップの作成など地域社会との連携を図った千里山団地、屋上の薬草庭園から吹き抜けを通じた立体緑化に取り組んだ大正製薬関西支店です。いずれも都市環境の改善や都市の魅力向上とともに新たな緑化手法のモデルとなるものであり、これらの事例を参考に緑化が大きく進展していくことが望めます。また、緑化は竣工時がスタート時点であり、その後の継続的な管理によって緑化の価値がますます高まっていくことが期待できます。

このパンフレットの表紙は、大阪芸術大学の協力を得て、学内で応募のあった中から選ばれたデザインを使用しています。(デザインコンセプト)

私自身、みどりと私たちの身の周りのバランスが良質なほど、より生活しやすい空間が出来ると考えています。そして、それはまだまだこれから発展していく卵でもあるとも感じました。卵形の囲いに私たちの周りにある近代建築とその枠からはみ出すあふれるみどりを考えイラストにしました。私たちの生活が心地よい物になるためには、心が必要だと考え、木の中央にこっそりハートマークを隠しました。

大阪芸術大学芸術学部デザイン学科 水口 純慈

中之島四季の丘・ダイビル本館

所在地：大阪市
 主用途：事務所等
 建築主：関電不動産株式会社
 ダイビル株式会社
 設計：株式会社日建設計
 建築施工：株式会社大林組
 造園施工：住友林業緑化株式会社

■講 評■

当施設は大阪のミッドタウン中之島のオフィス街に有り、敷地北側には堂島川が流れ高層建築が林立する位置にあります。壁面後退により四季の丘を創り出し高層建築の圧迫感を軽減しています。緑量感のある自然な丘形状は、高層建築が林立する中で緑の存在感を高めており、頂上まで散策できる遊歩道も整備されています。また川沿いの遊歩道にも接続し、中之島地域のネットワーク動線の形成に貢献し、さらに南側には利用者が木漏れ日を感じられる優しい空間を作っています。今後の都市緑化には複合緑化が重要であると考え、当施設は決して大規模とは言えないまでも、近未来の指針となる要素を数多く提案されており知事賞を受賞されるに相応しい施設と云えます。

（二見 恵美子）



河岸沿いの緑と連続する花木を中心とした華やかな植栽



ゆるやかなスロープ沿いに四季折々の自然を感じられる丘形状緑地



中之島四季の丘正面のシダレザクラ



中之島四季の丘の全景



にぎわい空間と一体となったクスノキ並木

シティテラス今福鶴見

所在地：大阪市

主用途：共同住宅

建築主：住友不動産株式会社

設計：株式会社長谷工コーポレーション

建築施工：株式会社長谷工コーポレーション

造園施工：株式会社日比谷アメニス

■ 講 評 ■

「森の邸宅」をコンセプトに、緑が少ない市街地の中で、建物の全周が緑で囲まれる街区としており、周辺市街地に対して緑を大きく提供しています。接道部の北面と西面、南面は歩道と一体的に整備され、シラカシやエゴノキ、サルスベリ等による豊かな緑地帯を形成しています。特に北西角には広場が創出されており、そこではイロハモミジ等を植栽して豊かな季節感が醸し出されています。また、住棟やタワーパーキングの面には高木が配植され、圧迫感の軽減にも配慮されています。隣地と接する東面には通り抜け可能な公開空地が設けられており、草本や低木、多彩な中高木の緑化により緑豊かな潤いのある空間が創出されています。その入り口部はウエルカムガーデンと呼ばれ、ヒマラヤスギによるシンボルツリーとともに円形ベンチが設けられており、人々の交流の場を提供しています。

（増田 昇）



高木を中心とした緑量豊かな広場



地域住民に緑あふれる空間を提供



花木をアクセントとした幅広い遊歩道



様々な樹種による季節を感じられる植栽

関西医科大学 枚方キャンパス学舎

所在地：枚方市

主用途：学校

建築主：学校法人関西医科大学

設計：清水建設株式会社

建築施工：清水建設株式会社

造園施工：東光園緑化株式会社

■ 講 評 ■

当施設は、京阪枚方駅から大学建物内を通り、淀川河川公園へと続くプロムナードとして一般開放されています。また途中にベンチを設置するなど憩いの場としても利用されています。敷地内の積極的な緑化により連続したみどりを形成するとともに、生物多様性への配慮として、クヌギやコナラ等の在来種を主体とした植栽が行われています。また河川敷沿いのポプラや接道沿いの緑化の一部について既存木を利用するなどの工夫がみられます。周辺への景観形成についても緩やかな坂を活かした立体的なみどりを目指しており、増築でありながら敷地内での緑地の一体化、周辺のみどりとの調和を考慮している点が評価されます。今後も地域の中核的なみどり形成の場として、また地域に親しまれる場として展開されることが期待されます。

（ 藤 田 香 ）



淀川河川公園につながる緑豊かなプロムナード



中庭の芝生広場とシンボルツリーのクスノキ



手入れの行き届いた学舎正面の芝生広場



隣接する附属病院の病室からも眺められる屋上庭園

奨励賞

千里山団地



千里山の丘陵地形を活かしたもみじ坂



シンボル樹を配したエントランス



サクラが幹に着生したフェニックスの移植木

所在地：吹田市

主用途：集合住宅

建築主：独立行政法人 都市再生機構

西日本支社

設計：環境設計株式会社

建築施工：株式会社大林組

造園施工：住友林業緑化株式会社

講評

建て替えによって一新された当該施設は、高低差のある丘陵地を活かし、緑量を感じるデザインになっています。建て替え前からあった樹木はあちこちに移植され、居住者が集まり、語らい、憩うスポットなどで再びその存在を表しています。工事の支障になったその他の樹木は「植物の里親さん募集」によって吹田市と共同で地域住民に配布されたそうです。白っぽい葉や枝が風になびく樹木は暑い季節には居住者の目に涼しげで、ふるさと桜の散策路、モミジ類によるもみじ坂は居住者を心地よい鑑賞やのんびりとした散歩へいざなうことうけあいです。

樹名札づくりやみどりと親しむ会などが開かれ、居住者は自分たちが住まう場と一体化した緑への愛着を強くしていることでしょう。一度出向いて散歩してみたいと思わせる千里山団地の緑です。

（石川 聡子）

奨励賞

あべのハルカス

所在地：大阪市

主用途：店舗等

建築主：近畿日本鉄道株式会社

設計：株式会社竹中工務店

建築施工：竹中工務店・奥村組・大林組
大日本土木・銭高組共同企業体

造園施工：近鉄造園土木株式会社

講評

厳しい条件のもとでの緑化は、全国的に見てもかなり先進的な試みと評価されます。16階緑地は寒風の中でも多くの来訪者があり、公開性も高く貴重な緑空間でした。38階の緑地は立ち入り禁止で、冬の現場でもありやや寂しい印象でした。いずれも竣工から時間が短く、今後の管理技術も含めて注目される事例です。少し離れた天王寺公園が、百年以上の歴史を持つ緑地であるのと対照的な景観でした。空間的な連関は無理でしょうが、ソフトを活用しての連携が欲しいところです。

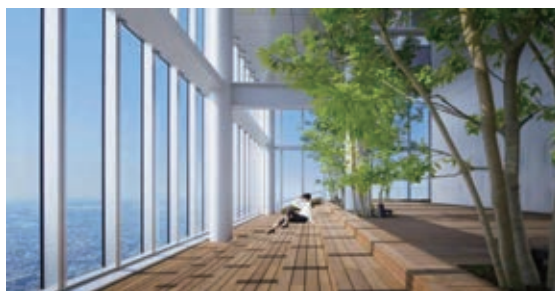
（谷田 一三）



在来種にこだわった16階緑地



上町台地の緑との連続性に配慮



樹木越しに景色を楽しめる58階展望スペース

奨励賞

大正製薬関西支店



吹抜け内のシマトネリコによる壁面緑化



各階テラスのプランターに植栽



薬草を中心とした屋上庭園

所在地：豊中市

主用途：事務所

建築主：大正製薬株式会社

設計：株式会社竹中工務店

建築施工：株式会社竹中工務店

造園施工：株式会社日比谷アメニス

講評

千里ニュータウン内でオフィスビルが建ち並ぶエリアに本施設は立地しています。

建物周囲は壁面後退エリアにふんだんに緑化され、高低差のある接道部周辺からの緑の露出度が高くなるよう工夫され、シャープな印象の建築デザインとの一体感ある緑空間の創出と周辺との一体的な景観形成に成功しています。また建物では吹抜内部に壁面緑化や屋上緑化も施され、緑あふれる内部空間を実現するとともに、ドライミスト装置や雨水貯留設備、自然採光、太陽光発電など建築と一体となった先進的な環境配慮技術も導入しつつ、快適な執務環境の確保との両立が図られています。本施設の先進技術を意欲的に取り入れた特徴的な緑化がパブリックな空間から望みできないのは残念ではありますが、建物開放の機会等を通じてその魅力を幅広くPRされることを期待しています。

（嘉名 光市）

委員所感

石川委員

今年も2度目の審査に参加させていただき、マンションに加えて病院、事業所、商業施設の緑化の取組みも見せていただきました。それぞれの事業の目的や特徴を表した工夫に目を奪われたり、趣向になるほどと納得したものがありました。地元の種の植栽に気を配る近年の傾向も再確認することができました。特徴的な緑化の取り組みをまとめて知ることのできる情報の集約があるといいと思うのですがいかがでしょう。

谷田委員

府北部地域を中心に、規模が大きく緑密度も高い計画や施設が見られました。周辺の公園や緑地空間との連関性についても、十分な配慮が見られていました。規模は大きくはないが、中之島四季の丘やあべのハルカスの緑化事業は、都心における工夫のある緑化事業として評価できます。今後の維持管理も含めて、先進的な試みになると期待します。ただし、緑化事業の本当の完成は竣工後10年、20年先の姿にあります。そのような時点の事業評価も考える必要があるかもしれません。長期的な維持管理には施設運営者だけではなく、住民や利用者、それに地域の方々との協働が重要になります。そのような試みも見られたと思います。

藤田委員

応募されたみなさま、ありがとうございます。おおさかの魅力向上に貢献されますみなさまの活動に感謝いたします。

今回は応募件数が11件と昨年度より増加し、共同住宅や集合住宅に限らず事務所や学校が含まれていたこと、増築も複数あったことに特徴がありました。受賞の有無にかかわらず、こうしたみなさまの活動を継続的に続けていただき、将来にわたりおおさかのみどり豊かな地域づくりの中核を担っていただきたいと思います。現在の状況がゴールではなく、スタートとなり、周辺のみどりとの調和や地域との連携がますますひろがり、発展することを期待いたします。

嘉名委員

今年度の作品は、敷地周囲の特性を読み取りその文脈を緑化に取り入れている点、あるいは最先端の緑化を環境技術の一部として積極的に導入している点が時代を象徴している印象がありました。単に緑のボリュームという視点のみならずその質的な価値を、まち、敷地、建物、アクティビティという多面的な次元で高めようとする取り組みが増えてきたように思います。今後とも時代を先取りする意欲的な作品のエントリーを大いに期待しています。

花田委員

今年も、大都市大阪の魅力向上に貢献する、創意にあふれた事例が集まりました。周辺環境との調和の観点に立ち、施設利用者だけでなく、地域に対する配慮が見られた点が素晴らしいと思いました。大きな医療施設や超高層ビルなど、施設の特徴を考慮した緑化技術が求められる事例もありましたが、それぞれの工夫が他施設の緑化の参考にもなると感じました。

今後はさらに多種多様な施設での緑化事例のご応募をお待ちしています。また生態系ネットワークへの配慮や地域の暮らしとのつながりなど、より広い視野をもった緑化活動にも期待しております。

二見委員

ここ10年前と比べると、市民や企業・各公的機関が目指す緑化が、生態系への配慮、周辺景観への適応と云った形で少しずつ受け継がれており、今や緑化の基本理念として認知され始めていることは素晴らしい進歩と存じます。今回、知事賞に選ばれた各施設はそれ以上に訴求力のある緑化施設として高く評価されました。また、その他の受賞施設もそれに続く評価でした。今後ますます、企業や市民の緑に対する意識が高揚し、子供たちに受け継がれ、いずれ地球規模での取り組みへと大きく貢献できる国家になる事を望んでやみません。

おおさか優良緑化賞



応募対象

顕彰実施年度の前5年度から前年度までに、緑化が完了した施設で、かつ、下記①～③のいずれかに該当するもの。

- ①条例第34条第1項及び第2項に基づき緑化計画書及び緑化完了書の届出を行った施設
- ②条例第35条第3号の規則で定める施設（敷地面積1,000㎡未満の施設は除く。）
- ③条例第38条に該当する市町村については、当該市町村の緑化に関する条例に基づく届出などを行った施設で、その条例の基準を満たすもの（敷地面積1,000㎡未満の施設は除く。）

応募方法

申請書類を所管の市町村担当窓口に提出してください。（毎年6月頃から8月頃まで募集）

申請書類

- ①応募申請書（「おおさか優良緑化賞」実施要綱 様式第1号）
- ②応募用紙
- ③緑化完了書一式（写し可、緑化完了図、面積計算図、樹種一覧含む）
- ④現地写真（緑化状況について施工前・後の比較ができるもの）
- ⑤その他参考資料（緑化のコンセプトが分かるPR資料など）

選考基準

賞の選考基準は、適切な維持管理設備・体制が整っていることのほか、下記のとおりです。

- ①条例の基準を大幅に超える緑化が行われているもの（視覚的な緑量の確保）
- ②建築物や周辺環境と調和した緑化が行われているもの（建築物とのバランス、周辺の景観形成への寄与度）
- ③スペースを有効利用しているもの（緑化空間のデザイン性、配置の工夫）
- ④敷地外部への貢献度の高いもの（接道部の緑化、緑地利用の工夫）
- ⑤新技術を積極的に採用しているもの（先進技術の導入、技術面での工夫、グレードの高い緑化）
- ⑥その他、この賞の目的に沿ったもの（生物多様性への配慮、その他特筆事項の有無）

選考方法

大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会による選考を経て、大阪府が受賞者を決定。（毎年12月上旬頃）

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/ryokkaseido/ryokkashou.html>

おおさか優良緑化賞 検索